



## 『あらたな戦前にさせない！ 守ろう平和といのちとくらし 2023 憲法大集会』

が5/3有明防災公園で開催され約2万5千人が参加しました。

11:00からはサブステージで『自由に話そうトークイベント』を開催、憲法を清末愛砂さん(室蘭工業大学教授・憲法学) 貧困・労働については竹信三恵子さん(和光大学名誉教授) 軍拡・敵基地攻撃・安保3文書では清水雅彦さん(日本体育大学教授・憲法学) 関東大震災・朝鮮人中国人虐殺100年について山本すみ子さん(関東大震災時朝鮮人虐殺の事実を知り追悼する神奈川実行委員会代表) 沖縄は泉川友樹さん(沖縄大学地域研究所特別研究員) 南西諸島の軍事要塞化は前園美子さん(馬毛島への米軍施設に反対する市民・団体連絡会副会長)が語りました。

13:00からはメインステージでの開催、清末愛砂さん(室蘭工業大学教授・憲法学)、泉川友樹さん(沖縄大学地域研究所特別研究員)が登壇し、「物価上昇で厳しい生活を強いられているという切実な声がある。防衛費の財源確保を優先し、立憲主義の核の一つである公平な分配が否定されている」と指摘。さらに「憲法9条を無視し、軍事的優位性を確保することを『防衛』の名の下で正当化するものだ」と訴えました。東村アキコさん(漫画家)がビデオメッセージを寄せた。憲法を破壊し続ける政権への鋭い批判があった。国会議員では立憲・れいわ・共産・社民からスピーチがあった。共産党志位委員長は、「射程2000キロ、3000キロの超音速ミサイルを沖縄に配備すると中国がすっぽり射程にはいる。このどこが専守防衛か。日本はアメリカのもとで攻撃する戦争国家に変わり、戦火を日本に呼び込むものだ。止めなくてはならない」と力説した。社民党の福島党首は「私の好きな言葉がある。それは“平和と平等は手を携えてやってくる”である。しかしその反対に“戦争は差別排外主義と手を携えてやってくる”のだ。これを止めなくてはならない。私たち一人ひとりが平和のトリデとなって、あらたな戦前にさせないために立ち上がろう！」と訴えました。

14:30からはデモ、私たちは・改憲発議を許さず、憲法をいかし、平和といのちとくらしと人権を守ります。・軍拡と敵基地攻撃能力保有の閣議決定を撤回し、外交努力での平和を求めます。・辺野古新基地建設と南西諸島へのミサイル基地配備の中止を求めます。・エネルギー危機を口実とした原発推進政策に反対します。・ジェンダー平等の社会をめざします。・これら実現のため岸田政権の暴走をストップさせ、安心してらせる社会をめざします。を沿道に



訴えました。